

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2014年12月19日）

一足早く野田村の良い子の皆さんに、クリスマス・プレゼントを届けるために弘前を出発しました。前日までは大荒れの天気で、中止になるのではないかと心配しておりましたが、朝から晴天に恵まれ、野田村に向かいました。本日のサンタさんは学生事務局から2名と初参加の新人サンタさんが1名で、朝6時の出発だったにもかかわらず、大変いい顔をしていました。

今年も弘前市民の皆さまから400個のクリスマス・プレゼントが集まりました。中には、小学校を卒業する6年生の皆さんに、思い出となる手作りのものをプレゼントしたいと、春先から準備をしてくださった市民もいました。弘前市の「子どもたちを支援する会」からは、たくさんりんごをいただきました。また、学生事務局からは本年も大学祭に行った野田村物産展の収益金で、文房具やお菓子などの詰め合わせを準備してくれました。市民や学生の皆さんの温かい気持ちを感謝の気持ちでいっぱいです。震災から4回目となるこの活動も、皆さまのご協力があったものだと改めて感じました。ありがとうございました。



プレゼントの準備



市民の皆さまからのプレゼント

晴天に恵まれ、道路状況も良く、予定より少し早めに野田小学校に到着しました。この日は昨年と同様学年面談が予定されていたため、短い時間に全学年を回らなければならない厳しいスケジュールでした。サンタさんが着替えているうちに、残りのメンバーで事前に郵送していた市民からのプレゼントをサンタさんのプレゼント袋に詰め込み、準備を完了。

休み時間を知らせるチャイムを合図に、1年生と2年生の教室に同時にサンタさんが入っていききました。1年生の教室では、わーい！サンタさんだ！と大きな歓声が上がりました。サンタさんから、「今年も良い子だった人、手を挙げて」と声をかけると、いっせいに「はい！」と元気な声で返事していました。一人一人にプレゼントを手渡すと大きな声で、「ありがとうございます！」と言ってくれました。

高学年になると少し落ち着いていて、中には「今年も来てくれたんだ。ありがとう。」「学習支援のお兄さんだ。ありがとう」とサンタさんに変装した学生事務局の名前を覚えていました。プレゼント配

布が終わると各学年とも、サンタさんへのお礼の気持ちを込めて、礼儀正しく全員で挨拶をしました。サンタさんからは、「また、来年も会おうね」と別れの挨拶を交わしました。



サンタさんとトナカイさん、ありがとう！



子供たちからの感謝の言葉

小学校の配布が終わった後は、野田村管内の保育園にプレゼントをお届けすることにしました。昨年は少し時間が遅かったために、園児の皆さんがお昼寝タイムに入っていたので、今年は急いで野田村保育所に向かうことにしました。保育所では副園長先生が私たちの到着を待っていただきました。副園長先生のご案内で、1歳児のクラスからプレゼントをお届けすることにしました。食事中に突然訪れたサンタさんに、園児たちは少し驚いたようで、びっくりした顔で泣き出す子供もいましたが、「サンタさん、来てくれたんだありがとう。プレゼント、ありがとう」と満面の笑顔で迎えてくれました。また、年長さんのクラスでは、皆でサンタさんへの歌プレゼンをしてくれました。その後は、日向保育園、玉川保育園にプレゼントを届けました。



野田保育園の園児の皆さんに

また、残りの時間を利用し、今までいろいろとチームオール弘前の活動を支援して下さった野田村の方々に教員事務局から用意したプレゼントをお届けしました。本年もサンタさんとトナカイさんたちはお昼も食べる間もなく、大活躍でした。

最後になりますが、今年も温かい心がいっぱいこもったクリスマス・プレゼントを提供して下さった市民の皆さま、本当にありがとうございます。おかげさまで4年目のトナカイ役も無事に務められました。来年も変わらぬご協力をお願い申し上げます。

(担当:李永俊)